いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町一番地 電話（三八一番）
編輯發行人 印刷人 千葉克己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ヶ月五円 一部二十錢

赤旗を先頭に 平の電産デモ行進
民主日本の建設を固く誓ふ 平署その他に決議文を手交

電産スト濱通り地區共同闘爭委員會主催のデモと決議大會十三日午前九時半から平驛前廣場で三十余團体、千余名の代表が參加して開かれた、この日縣地方勞働委員會から委員久保義男氏をはじめ全日本産別組合會議代表志賀重義氏等臨席、定刻電産（蓬田守之助）、日炭（鈴木光男）、放送局（上田　）等の闘爭經過報告に次いで各勞組團体を代表して共産黨鈴木文夫、社會黨日野利春、民主婦人聯盟赤塚キヨ子、民主人民聯盟箱崎滿壽男、全日本産別組合會議代表志賀重義、電産福島支部婦人部代表阿部俊子諸子の十月闘爭の意義勞働戰線の統一、吉田内閣打倒、婦人問題等その他についての激勵演說があり〝吾等は民主日本再建のため身命を賭して闘ふ〟と決議、大會終了後新妻委員長の指揮で矢郷礦のブラスバンドを先頭に赤旗を押し立てゝ市内を示威行進、地方事務所を訪れて地方行政の民主化をはじめ勞調法反對、甲種勤勞所得税の徹廢、五百圓の枠をはずせ等の決議を所長代理に手交、更らに平署を訪れて署長代理小林警部補に警察の民主化、その他三スローガンを揭げた決議文を手交、最後に市役所にいたり市長代理佐藤助役と會見、市長の民主的選出をはじめ市政の民主化、公會堂を解放せよ、回覽板の利用等その他三項目の決議文を手交いづれも二十四時間以内に文書を以つて回答を求める旨確約して驛前に引上げ午後一時半盛會裡に散會した

勞働戰線の推進へ
磐城方部勞働青年協議會結成

平地區勞働青年協議會準備會は十二日午后一時より東配倶樂部に開催、結成準備を急ぐことゝしたが、これに刺戟をれて綴湯本、植田、小名濱、四倉、好間各地區青年協議會では平地區勞組青年協議會を中心として磐城方部勞組青年協議會を結成、勞働運動の中核体として勞働戰線の推進力となり民主社會の發展强化と社會人としての研鑽に努むることになり十三日午后二時から東配青年部代表が司會となり東配倶樂部に初の準備會を開いた、日炭支部闘爭委員長鈴木光男君議長となり各地勞組青年部の活動狀況その他意見の交換を行つたが、十八日午前十時から東配倶樂部に第二回準備會を開き急速に結成を急ぐことゝし

阪妻の國定忠治
十五日からいよ〱公開
聚樂館

日礦支部 機關紙を

日礦常磐支部では機關紙〝鑛山勞働〟を發刊する、月一回發行の豫定

榮譽の炭礦と個人
本年度安全週間の大臣表彰

二十一年度全國炭礦安全週間の厚生商工兩大臣による東北地方表彰狀傳達式は十二日午前十時から東北地方商工局で行はれた被表彰炭鑛は大日本炭鑛勿來鑛業所、團体は常磐炭鑛安全委員會、個人は常磐湯本鑛採堀工手志賀武美（四〇）、大日本炭鑛勿來坑支柱夫山口惣次（三八）兩氏で保安優良炭鑛大臣表彰牌は大日本炭鑛勿來鑛業所に授與された

決議

吾等勞働者の解放と生活擁護のため左記事項の目的貫徹に邁進せんことを期す
▲勞調法の徹廢▲甲種勤勞所得税の廢止▲五百圓の枠をはづせ▲電産闘爭に對する全面的絶對支持

小名濱地區
明日は植田町で

小名濱地區勞働者大會は十三日午後十時から日水、臨鐵、保土ヶ谷、東配爭業所各勞組從業員百五十名參加、驛前廣場で開かれた、各勞組代表の激勵演說に次いで左の決議を行ひ正午盛會裡に散會、尙植田地區大會は十五日午前十時から驛前廣場で行はれる

地方文協連絡會議

磐城文協では二十二日午後一時から石城産婆看護婦學校に地元各文化團体の連絡會を開き、文協の連絡を密にすることゝした

飯野瑞光寺圖書館開設
鮫島俊雄師美擧

飯野村大字小泉瑞光寺住職鮫島俊雄師は村の青少年の文化向上のため全寺所藏の書籍を整理且つ新刊書等も蒐集して圖書館を全寺内に開設すべく準備中、此程漸く纏つたので十五日からいよ〱一般公開することゝなつた、尙隨時講話會をも且つ一般青少年の意見交換等を行ふとあり村から大きな期待をかけられてゐる

常磐炭礦業聯盟
十六日常銀平支店に委員會

勞働問題を調査し勞資協調により石炭增産に寄與しようと常磐炭田の七十九業者（福島地區六十四、茨城地區十五）は常磐炭鑛業聯盟を結成することになり十六日午前十時から市内二町目常陽銀行樓上に設立委員會を開催する、設立委員長には大越新氏が就任、今后の成果に期待をかけられてゐる

ササキホンヤ
電話二八五番

專門委員を擧げて
自治會館建設案順調に進む

郡町村長會は十四日午前十時から市内マルトモホールに開催、地方制度改正記念に自治會館を建設することに決し好間金成濱治、渡邊高木善枝、勿來赤津修一三氏を專門委員に擧げ具体案を練ることゝした、豫算は當初の百萬圓を變更、二百万圓見當として關係方面に接衝することゝした、土地其の他については急速に衡を急ぎ十二月中旬迄に竣功の運びとある

住職を糾彈
植田町青年聯盟が

植田町青年聯盟では町内の不正を一掃し道義植田町建設に乘出し十二日夜聯盟事務所に幹部會を開いた結果同町菜寺住職は山際五太郎氏の子息が戰死し去る十月九日埋葬したが、改名料一千圓と云ふ大枚を要求受領し、此の外にも戰死者家族より不當の金を捲上げたと云ふので青年聯盟から三名の交渉員をあげ住職を糾彈することゝした

自由販賣
あすから食肉

竹島、大塚兩店で

平食肉共販組合では今后の見透しもついたのでいよ〱十五日から肉類の自由販賣を實施、戰前同樣一般家庭の食膳に贈ることゝした、十五日は午前九時から市内大町竹島、六町目大塚兩肉店で一般に牛肉を自由販賣する

伊東氏の義擧
天勝追善興行兼ね引揚者援護金造成

初代天勝伊東まつのさんの告別式は十五日午後二時から平驛前伊東興行事務所で行ひ十六日植田町で本葬が執行されるが、これが追善興行を兼ねて伊東一氏の厚意に依り海外引揚者磐城聯盟並に同植田支部の援護金造成のため十六、七の兩日午後六時から植田町菊田座で追善興行を開催する尙十一月二十八日から年末にかけ縣下一圓で同じく援護資金造成興行も開催することゝし引揚者聯盟の手で計劃を進めてゐる

教育分會解散協議

縣教育會の解散に伴ひ石城分會では十五日午前九時から湯本國民學校で評議員會を開き石城分會解散の件につき協議した

大浦公民校
十五日開校式を 初代校長松本氏

戰時中四倉、大浦、大野青年學校は四倉町に太陽青年學校として統合されて居たが、今般各町村の實情に即して獨立、四倉實業學校、大浦村公民學校、大野青年學校として出發する事になつた、大浦公民學校では十五日午前九時から開校式を行ふ、初代校長は現國民校長松本茂壽氏と決定

いわき寸言

▲四倉太陽青年校又戰前通りに分割、大浦、大野兩村はそれ〲獨立するとある、それが本當のこと、村の青年は村で育成すべし
▲民主日本の再建に身命を賭して闘ふとは電産デモ行進の大會の決議、この心意氣で勞働大衆が一致協力する時こそ、再生日本の曙は來る、口のみに終らせず飽迄邁進すべし
▲自治會館の建設に町村長會がすつかり張り込む、眞によきことと但し金をいざ出す場合に兎や角いふことのないやうに願ひ度し
▲勞働運動の推進力めざして磐城方部勞働青年協議會の結成が目論まれる、勞働青年の目覺めたことを物語るものとして順調な生育を念ずるのみ

初代名華天勝伊東マツノ事昨秋ヨリ病氣ニテ引退再三仙臺帝大病院ニテ加療セシモ藥石効無ク去ル八月十三日郷里ニテ永眠仕リ候
依テ巡業中ノ雪組花組各座長ヲシテ同組二代目襲名引繼キ巡業致サセ置キ候條何卒故人同樣御引立ニ預リ度ク追テ葬儀ハ左ノ如ク執行仕ル可ク茲ニ故人生前ノ御愛顧御後援ヲ深謝シ併セテ御通知申上候

告別式 十月十五日午後二時福島縣平市驛前伊東興行事務所
本葬 十月十六日午後二時同縣石城郡植田町[illegible]容院

昭和二十一年十月十二日

施主 佐[illegible]政秀
本家 伊東一
雪組二代目 松島[illegible]子
花組二代目 長谷川愛子
常磐假設興行事務所 分家 小關四郎
常磐露商組合長 分家 藤太一郎
踏演劇演藝取扱 分家 松本長雄
同 分家 小林久吾
土木建築請負 分家 鈴木組一同
伊東一家内一同

長男榮一儀中支派遣中昨年十月六日上海兵站病院に於て戰病死仕り候處此程遺骨到着致候に付ては來る十月十五日午後二時三丁目自宅出棺善提院に於て埋骨可仕候間此段御通知申上候
併て生前に於ける學友諸彥の御懇誼を深謝仕候

昭和二十一年十月十四日
平市字三丁目二八
父 横山萬藏
親戚總代 横山馨

善太郎長男一郎儀二十年一月一日中支に於て戰傷死本月五日遺骨到着に付來る十八日午後一時より自宅に於て佛式告別式執行仕るべく候乍略儀本紙上を以て御通知に代へ申候

昭和二十一年十月十五日
石城郡夏井村大字下大越
祖父 鈴木辰三郎
父 鈴木善太郎
外 親戚一同

湯本町アマチュア軟式野球大會

會場 湯本國民學校グランド
期日 十九日（土）二十日（日）決勝戰二十一日
出場チームは十五日迄湯本支局へメムバー出して下さい
主將會議十六日午後一時役場會議室にて
優勝チームに優勝額と副賞贈呈

主催 いわき民報湯本支局
後援 常磐炭礦野球部
湯本クラブ

市の人口三萬一千名

戸數は六千六百四十戸
四人世帶が斷然壓倒的

九月現在調査

食糧緩和の朗報は市の轉出、輸入に早速響いてゐるが九月初旬の調査に依る平市の戸數は戰前全樣の六千六百四十戸、人口は三萬六百三十六名でこれに寮生活の三百五十五名を加へると三萬九百九十一名となる、尙之を人數別の世帶數に見ると、一人世帶五百九十九、二人世帶九百六、三人世帶九百七十、四人世帶一千二十九、五人世帶八百八十、六人世帶七百六十六、七人世帶六百十五、八人世帶三百九十九、九人世帶二百五十三、十人世帶百四十三、十一人世帶五十三、十二人世帶十七、十三人世帶十、十四人世帶四、十五人世帶一、十七人世帶一、十八人世帶一、二十四人世帶二、

四人家族が斷然トツプを切つて居るが十人以上の家庭が二百三十二戸（延人員二千四百九十九人）を占めて居るのは戰災地の特色をはつきり示して居るも同時に借家借間難の現狀を如實に物語つてゐる

轉出入は
結局三百名增加

食糧事情の緩和に伴ひ市内の移動も大分激しくなつて來たが九月の市の轉出入に見ると轉入八百六十九名、轉出六百二十八名と、差引二百四十一名で轉出入の落差に比して市の人口は增加の一途である、各縣別は（括弧内は轉出數）

東京三〇（八四）、神奈川八（二二）、茨城三二（四六）、宮城一八（四四）、靜岡二（四）、岩手六（九）、埼玉四（一四）、山形八（一〇）、群馬四（八）、千葉〇（一三）、新潟六（一〇）、兵庫五（一）、福岡三（一）、長崎〇（三）、北海道一〇（一〇）、山梨一（〇）、愛知五（五）、秋田三（七）、長野二（〇）、奈良一（〇）、京都〇（二）、栃木五（六）、青森〇（五）、石川〇（一）、大分一（〇）、山口一（〇）、熊本〇（一）、富山一（〇）、大阪一（〇）、轉入百五十七名、轉出三百十名

數字上では約半分減つてゐる譯だが實數は外國よりの引揚者、出生、縣内轉入者が意外に多いため結局轉入、轉出の差引は三百四十一名の轉入超過となり、市民の增加と云ふ譯で平市の發展性から見れば嬉しい現象である

その名も嬉し
"濱風"一家
目覺めた小名濱の青少年

濱の青年少年を善導、與太者氣質を一掃させて、日本再建の一礎石たらしめやうと今度小名濱町に街の青少年百二十八名を網羅して、その名も渚に相應しい"濱風一家"が創設された、右は山本製材所主山本杉雄氏、天川久雄氏、丹野茂氏、大和田組の大和田忠造氏等の肝煎りで生れたものだが會員は絕對に與太を封じて日本水素、山本製材所を始め各漁船に夫々就職、眞面目に働きを樂しんでゐる、殊に文化方面にも一役買つて出やうと濱風樂團を始め舞踊團その他をも組織、去る九日泉村下川で增産に精進する村民慰安のため無料樂劇大會を開き非常な好評を拍し町民からも感激されてゐる、全組織に當る馬上勝美主任は完全な更生を契ひ一同よく働き、昨今はみな働くのを喜んでゐる、山本、天川、丹野、大和田四氏の御盡力が結局、この結實をみたもので感謝に堪えない、今後一層町の皆樣の御援助と御指導を御願ひ申したいと念じてゐる

政黨と農民組合

日農石城協議會長　日野利春

（4）

此の二つの種類の農民組合が政黨に對してどんな態度をとつてゐるか。先ず御用農民組合の方では『政黨政派と偏せず』と云つてゐる。これは實際予盾した話で事實とは彼等指導者は既成政黨の人間であり村内の地主的存在であり乍ら、農民をダマすためにそういふ事を云ふのである。そして現在良識ある日本人として、政治的に何等かの政黨を支持しないと云ふ事はあり得ない。選擧に當つて吾々は否でも應でもどの政黨を支持するかと云ふ態度を決せざるを得ない

此の時御用組合の連中は明かに進歩黨の舊勢力を支援するのである。然るに日本農民組合に於ては、組合員としては政黨支持は自席となつてゐる。日本農民組合は政治團体ではない從つて組合員を政治的に拘束することは絕對にない。組合員はどの政黨を支持する事も自由である。然し日農が壓迫された農民大衆の解散を目標とする以上、日農に結集した農民組合員は少なくとも自由進歩黨等の自分達を苦めて來た地主的政黨を支持する筈のないのは自然である。これはあくまでも自然にさうなので日農がそれは強制するやうな事は絕對にないのである。

（5）

また日農の幹部はみな長い間あらゆる舊勢力の壓迫の中で幾度か檢擧投獄され乍ら農民解放を叫び續けて來た闘士である。從つて彼等が舊政黨人でない事は當然でありまた新しい民主政黨の人であることも自然である。三十年に亘つて農民の父として闘つて來た、須永好氏が、農民解放を目の前にして、議會の質問演說中、急逝したことは吾々にとつて感慨無量であるが、國民が日農本部の會長でありまた政黨の幹部である事も吾々は當然の事を考へてゐる。また農民運動に於ける私の親しい先輩である八百板氏が社會黨から立候補した事も何の不思議もないと思ふ。むしろ農民はこのやうな農民の代表をドン／＼議會へ送ることによつて始めて自分達の主張を政府に實行させる事が出來るのである。

日農の組合員は政治的にはどの政黨を支持することも自由である。然し事實と自覺した組合員は大部分民衆の政黨し社會黨を支持してることも事實である。

磐崎村の管理委員

今春から明春にかけて執行される各種選擧に備へて町村では選擧管理委員の選擧を行ひ地事に報告されてゐるがその后の顏觸れは左の如くである

▽磐崎村淸水角治、小林忠、鈴木成俊、若松茂▽豫備鈴木岱佐、鈴木長吉、佐藤淸一、野木喜太郎

女從業員大募集
小名濱カフエー
うきよ
電一三三番

生活と文化　石城歌話會詠草【下】

○　今藤松次

草原を畑にひらくと汗あひて鍬ふる人の大根をまけり

湯の岳に立つ雲見れば秋立ちて雜草の穗風吹き渡る

○　高萩尊風

海のなきこの山國の高原に蒼く明るき海は搖らげり（猪苗代湖）

段々坂はさみて住める群落の夕道ぬけば山羊のなく聲（ある山村）

○　野木多霞夫

一番方の作業終れる坑口に秋の陽射しのしづけさを見し

紫を焚く匂ひしづかに寢ざめにも流れて親しふるさとの家

○　雫石太郎

幾度かかへりこんとて靴音にめざめて起きぬ老いし母あはれ

うら枯れしきびの葉末にさや／＼と秋風吹きて寂しかけりけり

○　高木正泰

晉れそむる川口ひろく潮みちて三角波のさかのぼりくる

人叫ぶ聲の銳く時化は來て濁きよせる土色の濤

○　樋口スミ子

夜半の月碎けうつれる川口にたゆたふ潮のうねりやまずも

みだれ伏す白萩の花に秋雨のさむく降りつつ夕暮れむとす

○　大田原七郎

隣家にて粉挽く機械購め來れば誦む音の我が家に響く

今年またひとつところに此庭の葉の靑々築れ忘れてありしに

○　阿部義子

雲白く山のあたりをながれつつ秋風立ちぬ炭礦街に

板戸よりはつかにもるる月光は靑澄めるまゝ枕邊にまで

○　馬目喜久與

裏瀨戸の桑の枯葉のからからとさびしき音に秋深みゆく

風さけてひなをかかへし母鷄のまだらが羽毛の寒けき感じ

○　阿部成子

客は今去り行きしなん灰皿の煙はうすく立ちゆれゐたり

たらちねの母の縫ひたる新衣を今宵身に着け靈祀りせり

○　鈴木謙四郎

吾が生計まだゆとりありありこの朝餉大根汁のチルチルなるも

叱られし子は泣きやみて和めども和まぬもの父に殘れる

○　筒井榮

秋たけし山の奧津城おとなはば心の闇もけぬべくあらむ

子を連れてあしたは行かむ秋深きかき奧津城どころ母は待つらむ

○　成田瀨美

ねむの花葉書にのせて緣先に女學生眠りて靜かなり

小雨降る山のはたけにをみなごは麥刈りてゐつ二人麥かる

○　鈴木一郎

朝月のいまだしづまぬ裏背戸の露衣け草に鳴ける機織

一坪の土を拓きてよごれたる手にかがやきし汗の滴り

○　佐藤淸長

働けど寂しきろかも此頃は生活のまへに心のめさる

演藝大會を見て

草野村の素人　平中靑二

沁々と心をさなくなるまでの想出もあれ秋の虫虫

（2）

『今日の演藝はヤクザ大會だ。股旅だ』と或る人が批評したゐる。聊か殘酷で可愛想だと思ふが、劇としては高田の馬場あり、赤城子守唄、名月狂亂雛あり、舞踊としてはいろは仁義、赤城子守唄、旅笠道中、おしどり道中、妻戀道中、吉良の仁吉等々皆刀を橫たへて出て來た。

高田の馬場の安さんはチョンマゲと云ひ、ヒゲの作り方といひ、体の動かし方と云ひ、喜劇的で、滿堂の喝采を博した、刀を二本さしてはゐるが、メチル酒の話が出、衞生サツクが飛び出し、第一封鎖が論ぜられて現代的かと思つてゐると仇討に出かける。出かける時に婆さんが安さんの腰卷を帶にからげさせる。安さんは一寸待つたと立小便を初める。チャンバラを初めると敵に油斷をさせる爲に試合を中止させ、獨りで踊り出しその踊りに見とれてゐる敵の胴ツ腹を不意に切りつける。ダマシ討ちだ。すべてヤンヤ／＼の拍手で人氣滿點。面白かつた、おかしかつたでは實に優等。東京の大劇場に出演しても恥かしくない動作だが、さて吾々に何を與へた。

「塩原多助」の出演技術はもつと優秀で全出演種目中の白眉。馬の顏に頰ずりして、自分を殺さうとする繼母の無情に泣く所なと觀客をして三昧境に引込む藝術的魅力を多分に持つ。人殺しの場面さへなければ一等賞を與へても良いと思ふ程の上出來。だが採点の標準をどこにおくかで實は私も色々と考へた。考へた結果、日本は今聯合軍の占領下にある、進駐軍が若し、此處に來てゐたとしたら一体そのまゝにして見過すであらうかといふ現實に立つて見た。刀を持つて出て來た男は直ちにブタ箱に叩き込まれるだらう。この一人が缺げたらこの劇は成立せぬ。成立せぬ劇は卒だ。卒なる所以はどこか。軍國主義的封建性ではないか。

多助は眞面目な男である。朝に霜を踏んで家を出て、夕に星をいたゞいて歸るといふ勤勞靑年である。それを好き嫌ひの簡單な問題で殺される。而も終日働いて暗くなつて歸つた多助に約束したからと云つて大豆二斗を二里もある所に運ばせて途中でバツサリやらせるのだが、平和裡に問題を解決しようといふのが、吾々現代人の衷心からの願ひであり、人情の自然ではなからうか。殺さうとする繼母の無情に泣き、愛馬との別れを惜しむだけだでは問題は永遠に解決せぬのではあるまいか。封建思想に基く家庭悲劇、昔ありしまゝの悲話。どこに人類の進歩を見出すか。家族制度を如何に改革するかの理念も意向も見出せないのではないか。

理性も、人間尊重の念もない惡魔的な女性をどうすればよいのか。多助を殺してくれと依賴されて引受ける男をそのまゝにしておいて良いのか。

保健告知板（阿康）

冬期の疾病豫防（感冒、肺炎、シモヤケ、ヒビ、神經痛）には

◇ビタミンAD
◇ビタミンC B1 B2 內服藥 注射藥
◇カルシウム劑
◇皮膚豫防藥
◇ヨード温泉藥（いそだま）

殊に夏期ヒゼン、カイゼン傳染病に感染せられた方は体質向上に御留意下さい。

右家庭衞生資材の御用命は日本健民厚生協會指定

あこう藥局へ

平市田町銀座街　電話四十四番